

2026年4月の星空

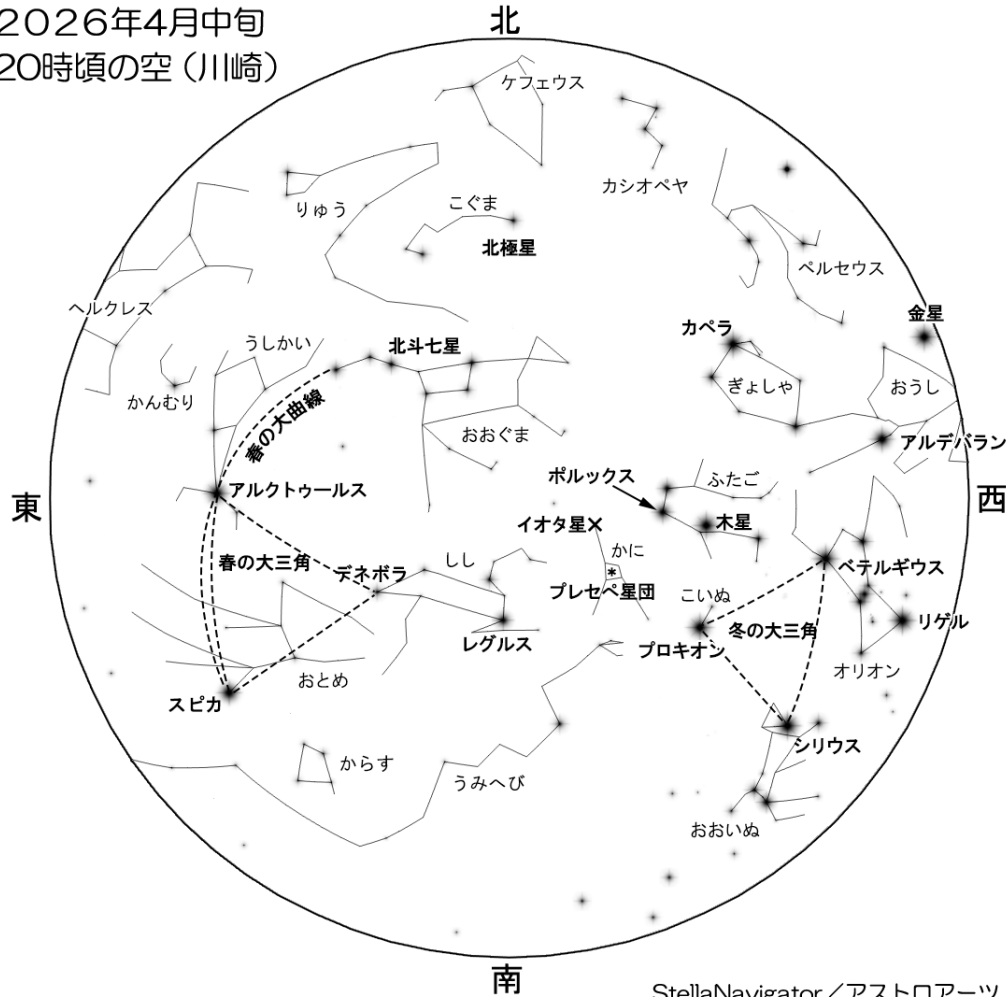
かわさき宙と緑の科学館

星を見るタベ

2026年4月18日(土)

*このリーフレットは科学館天文サポーターの協力により作成しています。

2026年4月中旬
20時頃の空(川崎)



StellaNavigator/アストロアーツ

春の星座が見やすくなりました。北東の空の高い所には北斗七星が見られます。おおぐま座のしっぽにあたる星々で、柄杓(ひしゃく)の形に並んでいます。持ち手の曲線を低いほうへ伸ばしていくと、うしかい座の1等星アルクトゥールス、さらに伸ばすとおとめ座の1等星スピカが見つかります。このカーブは春の大曲線と呼ばれています。また、アルクトゥールスとスピカ、しし座の2等星デネボラを結び、春の大三角をつくれます。しし座の胸元に当たる位置には1等星レグルスも輝いています。

西の空にはまだ冬の星座が残っており、明るい1等星がたくさん輝いていますが、一番目立つのはおそらく木星でしょう。惑星なので毎年少しずつ場所が変わっていきませんが、今はふたご座にいます。ふたご座としし座の間にはかに座があります。あまり明るい星はないのですが、双眼鏡で見るとプレセペ星団(M44)が見つかります。

これからの天体現象

●注目現象

- 4月 23日 夕方～宵、月と木星が並ぶ
4月こと座流星群が極大
(見頃は23日未明。1時間に10～15個程度。月の条件は比較的良好)
- 5月 5日 立夏(太陽黄経45度)
- 6日 みずがめ座 η (エータ)流星群が極大
(見頃は6日未明と7日の未明。1時間に5個程度。月が明るく条件は悪い)
- 19日 夕方～宵、細い月と金星が接近
- 20日 夕方～深夜、細い月と木星が接近
- 23日 レグルス食
(昼間に月がレグルスをかくす。日本ではおおむね関東以南で観測できる)

●月の満ち欠け

4月	17日	新月	5月	2日	満月
	24日	上弦		10日	下弦
				17日	新月
				23日	上弦

2026年4月の観望天体（予定）

【木星】

木星は太陽系最大の巨大ガス惑星です。固い地面はありませんが、中心には岩石や氷の核があります。高速自転により赤道付近が約7%膨らんでおり、表面には地球サイズの巨大な渦「大赤斑」が見られます。木星の衛星は現在見つかっているだけでも101個の衛星が確認されています。火山を持つイオや、氷の下に海があるというエウロパなど、個性豊かな衛星が回っています。

【かに座イオタ星（二重星）】

かに座の北の端にある4等星です。アストロテラスでは肉眼でやっと見える明るさですが、望遠鏡で見ると4等星と7等星が並ぶ二重星であることがわかります。この二重星は色の対比が非常に美しく、「春のアルビレオ」とも呼ばれています。

（アルビレオは、はくちょう座のくちばしにある二重星で、夏に見ごろを迎えます。）

トピック

【メシエについて】

星雲や星団を紹介する際に、M31やM42、M45などと書かれていることがあります。このMは、フランスの天文学者シャルル・メシエ（1730-1817）が作成した星雲・星団カタログ「メシエカタログ」の略です。彗星観測を専門としていたメシエは、彗星と見間違えやすい天体の一覧として、このカタログを作成しました。

メシエはM1からM103までを自身で公表し、その後に弟子などがM110まで追加しました。M1（かに星雲）は1054年の超新星爆発の跡（超新星残骸）とされ、藤原定家の日記「明月記」にも記載があります。また、M40（二重星）やM102（未確定）など、メシエの観測の不備により欠番とされる番号があります。

メシエは口径19cmの望遠鏡（アストロテラスの望遠鏡より小さい）を主に使っていたそうです。そのため、メシエカタログに掲載された星雲や星団は、小望遠鏡でも比較的見つけやすく、星雲や星団の紹介でよく登場します。冒頭に紹介したM31はアンドロメダ銀河、M42はオリオン大星雲、M45はプレヤデス星団（すばる）など、よく知られた天体も含まれています。

天文愛好家の中には、メシエカタログに掲載される約110個の天体を一晩で全て見る「メシエマラソン」に挑戦する人もいます。夕方、太陽が沈む頃から観測を始め、夜明け前に星が見えなくなるまで星雲・星団を探します。天体の位置関係から3月～4月頃が好機とされています。



次回は

5月23日（土）受付時間：18:45～19:00

月とミザール（二重星）を観察予定です。

先着順で整理券を配布します。プラネタリウムでの解説の後、番号順にアストロテラスへ案内し、望遠鏡で観察していただきます。

※雨天・曇天等観察が難しいと予想される場合は中止。

（開催の有無は、当日15時に当館HP・Xでお知らせします。）

最新の科学館の情報は
ホームページ・SNSを
ご確認ください。

公式ホームページ



X



Instagram



星を見るタベ
の感想をぜひご記入ください。
（所要時間 1～2分程度）



かわさき
宙と緑の科学館
Kawasaki Municipal Science Museum
サイエンスプリン

ぷりんのひとことメモ



みんなは宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」という物語を知っているかな？星を見ていると、楽しかったことや大切な人のことを思い出すことがあるよね。夜空の星や宇宙が大好きだった宮沢賢治は、いろんな想いを込めて、銀河を走る不思議な列車の旅の物語を作り上げたと言われているんだ。みんなもぜひ読んでみてね！